

平成 27 年度  
社会福祉法人 鈴鹿福社会

事業報告書



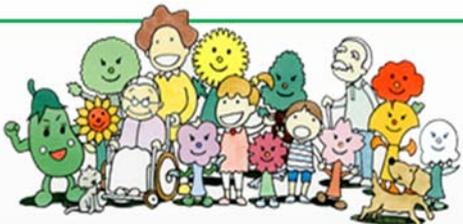
## 1. 事業基本理念に基づく社会福祉事業・公益事業の経営



### 経営理念

---

私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます



---



### 経営ビジョン 「気持ちをかたちに」

～こころづかいを地域のみなさまに～ ～思いやりを地域のみなさまに～

---



### 経営目標 「20年目からの新たな挑戦」

## 2. 法人の概要・事業報告

設立	平成4年4月9日		
住所	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地		
電話	059-374-4600		
FAX	059-374-4543		
E-mail	suzugu@mecha.ne.jp		
URL	https://suzuka-greenhome.jp		
事業計画目標	<p>【入居・滞在型サービス】 「1日24時間の生活を支える」ケアの実践</p> <p>【居宅サービス】 「地域包括ケア」の構築に取り組む</p>		
事業報告	<p>【法人】 (事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価をしています。)</p> <p>(1)【○】理事会、評議員会の開催 <span style="float: right;">計3回開催</span> 定款の規定に基づき、予算、決算、事業計画・報告、規程の改正等の議題や報告事項について、適正に審議等を行いました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">① 平成27年5月27日 開催</td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会:理事6名、監事2名出席</li> <li>・評議員会:評議員12名、施設長出席</li> </ul> </td> </tr> </table>	① 平成27年5月27日 開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会:理事6名、監事2名出席</li> <li>・評議員会:評議員12名、施設長出席</li> </ul>
① 平成27年5月27日 開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会:理事6名、監事2名出席</li> <li>・評議員会:評議員12名、施設長出席</li> </ul>		

	・外部監査機関:税理士法人日本経営担当者 1名出席
② 平成 27 年 11 月 25 日 開催	・理事会:理事 5 名、監事 2 名出席 ・評議員会:評議員 11 名、施設長出席
③ 平成 28 年 3 月 23 日 開催	・理事会:理事 6 名、監事 2 名出席 ・評議員会:評議員 12 名、施設長出席

(2)【○】監事監査、内部経理・予算監査の実施

各 1 回実施

内部監査により、内部牽制体制がとれた透明性の高い運営を行いました。

① 監事監査	平成 27 年 5 月 22 日実施
② 内部経理・予算監査	平成 27 年 5 月 19 日実施

(3)【○】外部経理監査の実施

計 12 回実施

外部の専門家の監査により、透明性が確保された適切な会計処理を行いました。

・平成 27 年 4 月 2 日、4 月 28 日、5 月 14 日、6 月 9 日、7 月 29 日、9 月 9 日、10 月 7 日、11 月 9 日、12 月 10 日、平成 28 年 1 月 8 日、2 月 3 日、3 月 4 日

(4)【○】月例会、幹部会議、連携会議の開催

計 36 回開催

職員への周知徹底、職員からの課題抽出や意見提案を行うことができる場として機能しています。

① 月例会	計 12 回開催 延べ 389 名出席 ・平成 27 年 4 月 1 日、5 月 1 日、6 月 1 日、7 月 1 日、8 月 1 日、9 月 1 日、10 月 1 日、11 月 2 日、12 月 1 日、平成 28 年 1 月 4 日、2 月 1 日、3 月 1 日
② 幹部会議	計 12 回開催 延べ 113 名出席 ・平成 27 年 4 月 20 日、5 月 20 日、6 月 20 日、7 月 21 日、8 月 20 日、9 月 19 日、10 月 19 日、11 月 18 日、12 月 17 日、平成 28 年 1 月 20 日、2 月 9 日、3 月 8 日
③ 連携会議	計 12 回開催 延べ 75 名出席 ・平成 27 年 4 月 7 日、5 月 6 日、6 月 11 日、7 月 7 日、8 月 4 日、9 月 8 日、10 月 6 日、11 月 4 日、12 月 9 日、平成 28 年 1 月 6 日、2 月 3 日、3 月 2 日

(5)【○】在宅サービス家族等との懇談会・施設見学会の開催

法人からのご案内やお願いをお伝えしたり、ご家族等か

ら直接ご意見を伺うなど、相互の意見交換を行うことができました。

① 平成 27 年 8 月 2 日開催	・14 名の方にご参加いただきました。
② 平成 27 年 10 月 12 日開催	・7 名の方にご参加いただきました。

(6)【○】ホームページによる情報公表(財務内容、事業計画・事業報告、監事監査結果報告、社会福祉法人現況報告、取組状況・アンケート結果等)

中身が見える法人として、公表すべき事項だけではなく、それ以外の事項についても積極的に公表を行いました。

①財務内容、事業計画・事業報告、監事監査結果報告、社会福祉法人現況報告	・ホームページ内「情報公開」において公表しました。
② 取組状況・アンケート結果等	・ホームページ内「グリーンホームだより」において公表しました。

【グリーンホームだより更新回数 265 本/366 日】



・年間ユーザー数 3,789 名、延べ 9,373 回のアクセスがあり、1 回のアクセスで平均 3.03 ページを閲覧いただきました。

(7)【○】人財の確保 計 8 回 延べ 16 名参加(出席)

介護人材の確保について、施設外において積極的に活動しました。

① 平成 27 年 6 月 28 日	「福祉・介護・看護の就職フェア」	2 名参加
② 平成 27 年 9 月 19 日～21 日	「いきいき介護フェスタ(鈴鹿亀山地区老協主催)」	
③ 平成 27 年 10 月 5 日	「人材育成に関する研修会」	3 名参加

	【Ⅰ】																			
④ 平成 27 年 10 月 25 日	「第 2 回福祉・介護・看護の就職フェア」	3 名参加																		
⑤ 平成 27 年 12 月 4 日	「人材育成に関する研修会【Ⅱ】」	2 名参加																		
⑥ 平成 28 年 1 月 29 日	「東海北陸ブロック 7 県 1 市合同委員会(テーマ:人材)」	1 名参加																		
⑦ 平成 28 年 2 月 5 日	「人材育成に関する研修会【Ⅲ】」	3 名参加																		
⑧ 平成 28 年 2 月 26 日	「日系人等介護就労準備研修修了者対象就職説明会」	2 名参加																		
⑨ 就業希望の方にホームでの取り組みをリアルタイムでご覧いただけるようホームページ「グリーンホームだより」を日々更新しました。																				
<p>(8)【○】職員の資質向上(施設内外研修、新任職員研修)</p> <p>非常に多くの専門的な研修会等に参加(開催)し、個々の学ぶ機会の提供と職員のレベルアップにつなげることができました。又日々の取り組みの成果について研究大会で発表を行うことができました。</p> <p>① 新任職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「採用時のしおり」を改善しました。</li> <li>・「新任職員研修(平成 27 年 3 月 17 日～4 月 3 日)」</li> <li>・「中途採用職員研修(採用時)」</li> </ul> <p>② 施設内研修会 <span style="float: right;">計 20 回 延べ 235 名参加</span></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td>平成 28 年 4 月 13 日</td> <td>・「ケースファイルの開示」 居宅介護支援</td> <td>5 名参加</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 4 月 21 日、 25 日、5 月 22 日、6 月 5 日</td> <td>・「認知症に関する勉強会」 デイサービスセンター</td> <td>11 名参加</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 5 月 26 日</td> <td>・「救急救命講習会」未受講者</td> <td>15 名参加</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 6 月 15 日</td> <td>・「ケースファイルの開示」 居宅介護支援</td> <td>4 名参加</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 7 月 13 日</td> <td>・「ツボの押しもみで健康増進」居 宅介護支援</td> <td>4 名参加</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 8 月 17 日</td> <td>・「認知症のはじめの一步～ご本 人・ご家族のための教室テキスト ～」居宅介護支援</td> <td>4 名参加</td> </tr> </tbody> </table>			平成 28 年 4 月 13 日	・「ケースファイルの開示」 居宅介護支援	5 名参加	平成 27 年 4 月 21 日、 25 日、5 月 22 日、6 月 5 日	・「認知症に関する勉強会」 デイサービスセンター	11 名参加	平成 27 年 5 月 26 日	・「救急救命講習会」未受講者	15 名参加	平成 27 年 6 月 15 日	・「ケースファイルの開示」 居宅介護支援	4 名参加	平成 27 年 7 月 13 日	・「ツボの押しもみで健康増進」居 宅介護支援	4 名参加	平成 27 年 8 月 17 日	・「認知症のはじめの一步～ご本 人・ご家族のための教室テキスト ～」居宅介護支援	4 名参加
平成 28 年 4 月 13 日	・「ケースファイルの開示」 居宅介護支援	5 名参加																		
平成 27 年 4 月 21 日、 25 日、5 月 22 日、6 月 5 日	・「認知症に関する勉強会」 デイサービスセンター	11 名参加																		
平成 27 年 5 月 26 日	・「救急救命講習会」未受講者	15 名参加																		
平成 27 年 6 月 15 日	・「ケースファイルの開示」 居宅介護支援	4 名参加																		
平成 27 年 7 月 13 日	・「ツボの押しもみで健康増進」居 宅介護支援	4 名参加																		
平成 27 年 8 月 17 日	・「認知症のはじめの一步～ご本 人・ご家族のための教室テキスト ～」居宅介護支援	4 名参加																		

平成 27 年 9 月 21 日	・「介護認定調査について」 居宅介護支援	4 名参加
平成 27 年 10 月 17 日、 12 月 5 日、8 日、12 日	・「認知症についての勉強会」 デイサービスセンター	11 名参加
平成 27 年 10 月 22 日	・「障がい福祉制度について」 居宅介護支援	4 名参加
平成 27 年 10 月 26 日 ～11 月 16 日	・「理事長面談」	職員 68 名と個 別面談
平成 27 年 11 月 16 日、 17 日、23 日、27 日	・「感染症勉強会」 デイサービスセンター	14 名参加
平成 27 年 11 月 16 日	・「アルコール依存症について」居 宅介護支援	4 名参加
平成 27 年 11 月 18 日	・「感染症の対応方法について」サ ロン花葉	2 名参加
平成 27 年 12 月 2 日	・「安全運転セミナー」職員	36 名受講
平成 27 年 11 月 25 日、 平成 28 年 1 月 28 日、 2 月 26 日、3 月 16 日、 23 日	・「介護技術に関する勉強会」 デイサービスセンター	5 名参加
平成 27 年 12 月 14 日	・「パワーリハビリテーションにつ いて」居宅介護支援	5 名参加
平成 28 年 1 月 18 日	・「ケアマネジャーのための大人 用紙おむつ基本講座」 居宅介護支援	5 名参加
平成 28 年 2 月 12 日、 3 月 22 日、29 日	・「高齢者医療に関する研修会」特 養／短期入所	24 名参加
平成 28 年 2 月 22 日	・「健康経営で会社も従業員も元 気～協会けんぽ三重支部健康経 営セミナー伝達研修」 居宅介護支援	5 名参加
平成 28 年 3 月 15 日	・「平成 28 年度事業計画につい て」居宅介護支援	5 名参加
③ 施設外研修会(会議) 計 70 回 延べ 105 名参加(出席)		
ア) 法人		
平成 27 年 5 月 12 日	・「平成 27 年度社会福祉法人役員 及び幹部職員研修会」	2 名参加
平成 27 年 6 月 26 日	・「安全運転管理者講習会」	1 名参加
平成 28 年 1 月 18 日、19	・「初級リスクマネジャー養成講	1 名参加

日	座	
平成 28 年 1 月 21 日	・「社会福祉法人労務管理セミナー」	1 名参加
平成 28 年 1 月 22 日	・「みえぎん新春公演会」	2 名参加
平成 28 年 2 月 19 日	・「社会福祉法制度改革と地域公益活動に関する説明会」	1 名参加
平成 28 年 3 月 19 日	・「福祉避難所運営セミナー」	1 名参加
イ) 特別養護老人ホーム、短期入所生活介護		
平成 27 年 6 月 11 日	・「第 3 回鈴鹿市地域ケア圏域会議」	1 名出席
平成 27 年 7 月 15 日	・「第 1 回鈴鹿亀山地区老協研修会 地震災害について」	2 名参加
平成 27 年 7 月 22 日	・「みえぎん経営者クラブ研修会」	2 名参加
平成 27 年 7 月 23 日、24 日	・「東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会」	2 名参加
平成 27 年 7 月 30 日	・「平成 27 年度介護保険サービス事業者集団指導」	1 名出席
平成 27 年 8 月 21 日	・「三重老協 21 世紀委員会勉強会」	1 名参加
平成 27 年 9 月 29 日	・「平成 27 年度給食施設管理者研修会」	1 名参加
平成 27 年 9 月 30 日～10 月 2 日、10 月 12 日～16 日	・「ユニットリーダー研修」	1 名受講
平成 27 年 10 月 1 日、2 日	・「東海北陸ブロックカンントリーミーティング」	1 名参加
平成 27 年 10 月 5 日	・「人材育成に関する研修会【Ⅰ】」	3 名参加
平成 27 年 10 月 8 日	・「災害対策における高齢者への食支援及び口腔ケア研修会」	1 名参加
平成 27 年 10 月 31 日	・「メディカルケアサポートセミナー」	1 名参加
平成 27 年 10 月 20 日	・「介護プロフェッショナルキャリア段位アセッサー講習会」	2 名参加
平成 27 年 11 月 11 日～13 日	・「第 72 回全国老人福祉施設大会」	1 名参加
平成 27 年 12 月 4 日	・「人材育成に関する研修会【Ⅱ】」	2 名参加
平成 27 年 12 月 10 日	・「第 9 回鈴鹿市地域ケア圏域会議」	1 名出席

平成 27 年 12 月 11 日	・「ノロウイルス食中毒予防講習会」	1 名参加
平成 27 年 12 月 16 日 ～18 日、平成 28 年 1 月 4 日～8 日	・「ユニットリーダー研修」	1 名受講
平成 27 年 12 月 16 日	・「第 2 回鈴鹿亀山地区老施協研修会 虐待防止と権利擁護に向けた私たちの取り組み」	1 名参加
平成 28 年 1 月 20 日	・「高齢者と食事のあり方研修会」	1 名参加
平成 28 年 2 月 5 日	・「人材育成に関する研修会【Ⅲ】」	3 名参加
平成 28 年 2 月 12 日	・「平成 27 年度スキルアップ研修会」	1 名参加
平成 28 年 2 月 17 日	・「第 3 回鈴鹿亀山地区老施協研修会 スマートフォン時代の情報発信について 魅力あるコンテンツとは」	1 名参加
平成 28 年 2 月 19 日	・「ユニットケア施設における体制整備及び管理運営」	3 名参加
ウ) デイサービスセンター		
平成 27 年 6 月 30 日～ 11 月 27 日、計 14 回	・「認知症介護実践リーダー研修」	1 名受講
平成 27 年 7 月 22 日	・「みえぎん経営者クラブ研修会」	1 名参加
平成 27 年 7 月 30 日	・「平成 27 年度介護保険サービス事業者集団指導」	1 名出席
平成 27 年 10 月 2 日	・「災害対応力向上研修」	1 名参加
平成 27 年 11 月 10 日	・「平成 27 年度三重県介護予防従事者研修会」	1 名参加
平成 27 年 11 月 10 日	・「鈴鹿亀山地区老施協県外研修」	1 名参加
平成 27 年 12 月 6 日	・「三重県デイサービスセンター協議会研修会」	1 名参加
平成 28 年 3 月 25 日	・「三重老施協在宅部会研修会」	1 名参加
エ) サロン花葉		
平成 27 年 5 月 21 日、6 月 26 日、7 月 28 日、9 月 14 日、10 月 14 日、11	・「第 3 次鈴鹿市地域福祉活動計画 第 4 部会」	1 名出席

月 5 日、11 月 26 日、12 月 3 日		
平成 27 年 5 月 28 日	・「鈴鹿市デイサービス事業所研修会」	1 名参加
平成 27 年 10 月 14 日	・「鈴鹿市デイサービス事業所研修会」	1 名参加
平成 27 年 12 月 10 日	・「第 9 回鈴鹿市地域ケア圏域会議」	1 名出席
平成 28 年 3 月 18 日	・「鈴鹿市デイサービス事業所研修会」	1 名参加
オ) 老人介護支援センター		
平成 28 年 2 月 25 日	・「平成 28 年度介護予防事業打合せ会議／高齢者通報体制整備事業に関する会議」	2 名出席
カ) 居宅介護支援事業所		
平成 27 年 4 月 7 日	・「平成 27 年度介護報酬改定勉強会」	2 名参加
平成 27 年 4 月 9 日	・「激変 平成 27 年度介護報酬改定 算定基準の全解説」	5 名参加
平成 27 年 4 月 24 日	・「三重県介護認定調査員新規研修会」	1 名受講
平成 27 年 5 月 12 日	・「鈴鹿地区介護支援専門員協会総会記念講演会」	4 名参加
平成 27 年 5 月 16 日	・「健康増進セミナー in 三重」	1 名参加
平成 27 年 5 月 19 日	・「平成 27 年度鈴鹿市医師会介護認定主治医研修」	1 名参加
平成 27 年 6 月 4 日	・「鈴鹿地区居宅介護事業所・介護支援専門員連絡協議会総会記念講演会」	4 名参加
平成 27 年 6 月 10 日	・「平成 27 年度一般健康講座」	1 名参加
平成 27 年 6 月 11 日	・「第 3 回鈴鹿市地域ケア圏域会議」	1 名出席
平成 27 年 6 月 12 日	・「平成 27 年度鈴鹿亀山地区広域連合新規認定調査員研修会」	1 名受講
平成 27 年 7 月 8 日	・「介護保険ケアプラン点検」	1 名参加
平成 27 年 7 月 1 日、8 月 4、5 日	・「平成 27 年度介護支援専門員実務従事者基礎研修」	1 名受講

平成 27 年 7 月 28 日	・「平成 27 年度介護保険サービス事業者等集団指導」	1 名出席
平成 27 年 8 月 12 日	・「第 2 回鈴鹿西部地域包括支援センター研修会」	4 名参加
平成 27 年 8 月 25 日	・「第 6 回鈴鹿市地域ケア圏域会議打合せ会議」	1 名出席
平成 27 年 9 月 10 日	・「第 6 回鈴鹿市地域ケア圏域会議」	1 名出席
平成 27 年 9 月 12 日	・「第 30 回七栗緩和ケアセミナー」	3 名参加
平成 27 年 10 月 9 日	・「県立総合医療センター一般健康講座」	4 名参加
平成 27 年 11 月 10 日	・「平成 27 年度三重県介護予防従事者研修会」	3 名参加
平成 27 年 11 月 10 日	・「鈴鹿亀山地区老施協県外研修」	1 名参加
平成 27 年 11 月 20 日	・「平成 27 年度福祉用具・住宅改修研修会 福祉用具編」	2 名参加
平成 27 年 12 月 18 日	・「平成 27 年度福祉用具・住宅改修研修会 住宅改修編」	2 名参加
平成 27 年 12 月 24 日	・「鈴鹿地区の地域包括ケア実現に向けた権利擁護研修会」	1 名参加
平成 28 年 1 月 22 日	・「平成 27 年度神経・筋難病医療福祉従事者研修会」	1 名参加
平成 28 年 2 月 17 日	・「第 3 回鈴鹿亀山地区老施協研修会 スマートフォン時代の情報発信について 魅力あるコンテンツとは」	1 名参加
平成 28 年 2 月 27 日	・「2015 年改正新しい運営基準・解釈通知に沿った居宅ケアマネの実務」	4 名参加
平成 28 年 3 月 27 日	・「認知症キャラバンメイト養成講座」	2 名受講
<p>(9)【○】人事考課・目標管理 <span style="float: right;">計 2 期実施</span>  職員個々が目指す人材へのサポート、面談を行うとともに、職員の日々の頑張りを公平に評価することにより、職員のモチベーションやキャリアアップにつながりました。</p>		
① 上期	平成 26 年 11 月 2 日～平成 27 年 5 月 1 日	

② 下期	平成 27 年 5 月 2 日～平成 27 年 11 月 1 日
<p>の期間において、職員の目標管理及び人事考課を行いました。 又人事考課と目標管理がよりリンクするように人事考課シートを改善しました。</p>	
<p>(10)【○】障がい者雇用の推進 <span style="float:right">計 4 回活動</span> 積極的に外に出向き、障がい者雇用に推進することができました。法定雇用率を超える採用を行っており、地域貢献につながりました。</p>	
① 平成 27 年 6 月 24 日	障がい者雇用ジョブコーチ 面談 1 名面談
② 平成 27 年 8 月 28 日	「障がい者就職面接会」 2 名参加
③ 平成 27 年 9 月 15 日	「杉の子特別支援学校石薬 師分校パートナーシップ会 議」 1 名出席
④ 「三重県障がい者雇用推進企業ネットワーク」登録	
<p>(11)【○】案内等広報活動 <span style="float:right">計 12 回実施</span> 行事案内だけでなく、健康面や介護保険改正情報等についても手紙やリーフレット、ホームページにより、積極的にご案内をいたしました。</p>	
① 特別養護老人ホーム入所指針の変更について	
② 創立 22 周年記念行事のご案内	
③ 春の交通安全週間	
④ 在宅サービス家族懇談会の開催	
⑤ 平成 27 年 8 月から一定以上の所得のある方の負担割合が変更となることについて	
⑥ 熱中症についての注意喚起	
⑦ 脱水症(かくれ脱水)についての注意喚起	
⑧ 非常持ち出し袋に歯ブラシを！	
⑨ インフルエンザ感染防止についての注意喚起	
⑩ ノロウイルス感染防止についての注意喚起	
⑪ 三重おもいやり駐車場利用証制度について	
⑫ サロン花葉の地域密着型への移行について	
<p>(12)【○】創立 22 周年記念行事の開催【入居者家族等との懇談を含む。】 平成 27 年 5 月 9 日開催:和気あいあいとした雰囲気の中、17 名のご家族にご参加いただきました。</p>	

次第	理事長よりみなさまにご挨拶、永年勤続職員表彰、新規採用職員紹介、ご入居者とともに食事会、懇談
バイキング形式で提供させていただいたお料理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・握り寿司、ちらし寿司</li> <li>・若竹椀</li> <li>・鰹たゝき</li> <li>・天麩羅</li> <li>・ブーケサラダ</li> <li>・ムサカ風ミートパイ</li> <li>・フルーツサンド</li> <li>・アーモンドミルクプディング</li> </ul> <p>【盛り付け例】</p> 
<p>(13)【○】敬老祝賀会の開催  平成 27 年 9 月 21 日開催:各ユニット・部署において、お祝いをいたしました。</p>	
バイキング形式で提供させていただいたお料理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松茸御飯</li> <li>・栗赤飯</li> <li>・ちらし寿司</li> <li>・茶碗蒸し</li> <li>・焚き合わせ</li> <li>・天麩羅</li> <li>・秋鮭照焼 茄子、里芋田楽 青菜胡桃和え</li> <li>・季節のフルーツ</li> <li>・紅白饅頭</li> <li>・プチケーキ</li> </ul> <p>【盛り付け例】</p> 
<p>(14)【○】「<b>グリーン</b>の秋祭り」の開催  平成 27 年 10 月 12 日開催:89 名のご家族、地域のみなさ</p>	

ま・地域のボランティアの方々にご参加いただきました。ご入居者のご家族のふれ合いや地域の方との交流につながった楽しい1日となりました。

<p>実行委員会</p>	<p>計7回開催          ・平成27年6月8日、6月25日、7月15日、8月19日、9月1日、9月29日、10月12日(反省会)</p>
<p>内容</p>	<p>ポン菓子実演、石薬師大木神社太鼓連様による和太鼓演奏、白子中学校リコーダークラブ様による演奏、唄声ドレミファ倶楽部様によるギターコンサート、グリーンの音楽会、紀和自動車様福祉車両展示、バルーンアート、介護相談ブース、デイサービス・サロン花葉紹介コーナー、ヨーヨー釣り、金魚すくい、お食事(ピザ風お好み焼き・塩焼きそば・フランクフルト・みたらし団子・チキンナゲット・ソフトクリーム・ポン菓子・わた菓子・カレーライス・飲み物)</p>

(15)【○】クリスマス会の開催【入居者家族等との懇談を含む。】

平成27年12月19日開催:30名のご家族にご参加いただき、ご入居者のご家族と一緒に催し物・食事を楽しんでいただきました。

<p>次第</p>	<p>理事長よりみなさまにご挨拶、催し物(グリーンの音楽会)、ご入居者とともに食事会、懇談</p>
<p>バイキング形式で提供させていただいたお料理</p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・握り寿司</li> <li>・天麩羅</li> <li>・手作りシュウマイ</li> <li>・浜地のムニエルアンチョビ紫蘇風味</li> <li>・ちぎりパンのフルーツサンド</li> <li>・フレッシュフルーツ</li> <li>・デコレーション巻き寿司</li> <li>・南瓜のポタージュ</li> <li>・ほうじ茶プディング</li> </ul> <p>【盛り付け例】</p>  </p>

(16)【○】事業計画作成検討会の開催

当法人では「みんなでつくる事業計画」が根付いています。来年度の事業計画は社会福祉法人としてのミッションに主眼を置いています。

平成 28 年 2 月 9 日	法人プレゼンテーション
平成 28 年 3 月 8 日	各事業所・部署プレゼンテーション
平成 28 年 3 月 9 日～	事業計画案作成・予算調整

(17)【○】各事業の自己評価(入居・滞在型サービス:毎月、在宅サービス:年1回)

平成 28 年 3 月 31 日各部署自己評価を実施し、コンプライアンス体制について確認しました。

(18)【△】特別養護老人ホーム等施設整備の推進

平成 27 年 6 月 29 日	「平成 28 年度老人福祉施設整備計画に関する事業者向け説明会」	2 名出席
平成 27 年 12 月 9 日	結果:非選定	

(19)【○】労働安全衛生の確保、推進

安全衛生に関する基本方針:

「労働災害のない安全で健康に働くことができる快適な職場の実現を図る。」

年間安全衛生目標・スローガン:

「腰を痛めない介護・看護を目指そう。」

☆介護機器等の使用や予防対策により、腰痛発生は 0 件でした。

☆腰痛以外の労働災害件数についても 0 件でした。

☆今後、介護ロボット等の活用により、さらに腰痛予防対策を進めてまいります。

①平成 27 年 4 月 20 日、5 月 20 日、6 月 20 日、7 月 21 日、8 月 20 日、9 月 19 日、10 月 19 日、11 月 18 日、12 月 17 日、平成 28 年 1 月 20 日、2 月 9 日、3 月 8 日	衛生委員会 計 12 回開催	
②平成 27 年 5 月 29 日	「健康保険新任事務講習会」	1 名参加
③平成 27 年 6 月 11 日	「平成 27 年度雇用主会議」	1 名参加
④平成 27 年 7 月 15 日、12	「協会けんぽ保健指導」	5 名面談

	月 22 日		
⑤	平成 27 年 8 月 29 日	「職員健康診断」	
⑥	平成 27 年 9 月 28 日	「雇用改善啓発セミナー」	1 名参加
⑦	平成 27 年 11 月 12 日、19 日	「職員インフルエンザ予防接種」	
⑧	平成 27 年 11 月 30 日	「腰痛予防対策講習会」	1 名参加
⑨	平成 27 年 1 月 1 日	「社会福祉法人 鈴鹿福祉会 心の健康づくり計画」施行	
⑩	平成 28 年 1 月	「平成 28 年(度)安全衛生管理計画及び実施結果報告書」作成	
⑪	平成 28 年 1 月 14 日	「高齢者雇用安定環境整備計画」認定	
⑫	平成 28 年 2 月 25 日	「夜勤職員対象健康診断」	
⑬	「一般事業主行動計画(平成 24 年 12 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)」実行中【ホームページ グリーンホーム だよりにおいて公表しました。】		

## (20)その他

### ①地域のボランティアの受け入れ状況

音楽を楽しむ会(毎週金曜日)	計 46 回、延べ 118 名のみなさまにご協力いただきました。
傾聴ボランティア(毎月 2 回以上)	延べ 36 名のみなさまにご協力いただきました
ハーモニカ演奏ボランティア(毎月 2 回)	延べ 30 名のみなさまにご協力いただきました。
大正琴・三味線・歌唱・マジックショー・フォークダンス・フラダンス・舞踊・体操・コーラス・オカリナ・ <b>グリーン</b> の秋まつりボランティアなど	計 15 回、多くのみなさまにご協力いただきました。

②各部署の玄関等において職員紹介を行っています。

### 【入居・滞在型サービス】

※特別養護老人ホーム、短期入所生活介護事業所の事業報告をご参照ください。

(1)ユニットケアの確立

(2)科学的介護への取り組み、介護機器の活用

	<p>(3) 認知症ケア重度者に対するケアの向上</p> <p>(4) 介護事故の発生防止及び感染症等の発生防止・まん延防止、身体拘束廃止への取り組み</p> <p>(5) パブリックスペース・ホーム玄関周辺的环境整備</p> <p>(6) 各ユニット設備の改善</p> <p>(7) 研究大会等での発表</p>
	<p>【居宅サービス】</p> <p>※通所介護事業所、小規模通所介護事業所、居宅介護支援事業所、老人介護支援センターの事業報告をご参照ください。</p> <p>(1) 地域包括ケアの推進</p> <p>(2) 科学的介護への取り組み、介護機器の活用</p> <p>(3) 認知症ケアの向上</p> <p>(4) 介護事故の発生防止及び感染症等の発生防止・まん延防止、身体拘束廃止への取り組み</p>

### 3. 社会福祉事業等の概要・事業報告

 <b>第一種社会福祉事業</b>	
名 称	特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム (三重県指定 2470300274 号) 
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地
開設日	平成 5 年 5 月 1 日 (ユニット型 平成 26 年 5 月 1 日)
類 型	ユニット型※/特別養護老人ホーム ※10 名を 1 ユニット(生活単位)として、ユニット毎に居室、リビング、浴室、洗面、トイレなど、生活に必要な設備が適切な場所に配置されており、しつらえについても家庭的な雰囲気の中で介護サービスを利用することができます。ケアワーカーの配置をユニット毎に固定配置にすることで、顔なじみの関係の中でサービスを受けることができます。個別的なケアを行うためにケアワーカーは、入居者個々の 24 時間軸の生活リズムを把握します。

定員	50床(5ユニット(こすもす・ひまわり・すずらん・すみれ・さくらユニット))				
事業の概要	常に介護が必要で、ご自宅での生活が困難な方(原則、要介護3～5の方)に、ケアプラン(個別介護計画)に基づき、日常生活全般の支援を行う入居型サービス				
ユニット型特別養護老人ホームの基本方針(特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準 第33条)	「入居者一人一人の意思及び人格を尊重し、入居者へのサービスの提供に関する計画に基づき、その居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援しなければならない。」				
平成27年度事業計画目標	「1日24時間の生活を支える」ケアの実践				
事業報告	<p>≪平成27年度≫ <span style="float: right;">延入居者数 18,140名</span></p> <p>【特養係】  (事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価をしています。)</p> <p>(1)【○】入所判定委員会の開催 <span style="float: right;">計12回開催</span>  入居申し込みリストを基に次期入居者、順位等の判定を行いました。</p> <p>(2)【○】業務改善会議【ユニットリーダー会議】の開催(毎月) <span style="float: right;">計12回開催</span>  係全体の課題や各ユニットの取り組みなどについて検討を行いました。</p> <p>(3)【○】ユニット会議、ケアカンファレンス(事例検討会)の開催(毎月)  ユニット内の取り組みや課題などについて話し合いを行いました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">こすもす・ひまわり/すずらん・すみれ/さくら・けやき ユニット(毎月第三週開催)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">計44回開催</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">いちよう・ひのきユニット</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">計12回開催</td> </tr> </table> <p>(4)【○】介護事故防止(ヒヤリハット事例を含む。)、身体拘束廃止に関するチェックリストの記載、事例検討会の開催(毎月) <span style="float: right;">計12回開催</span></p>	こすもす・ひまわり/すずらん・すみれ/さくら・けやき ユニット(毎月第三週開催)	計44回開催	いちよう・ひのきユニット	計12回開催
こすもす・ひまわり/すずらん・すみれ/さくら・けやき ユニット(毎月第三週開催)	計44回開催				
いちよう・ひのきユニット	計12回開催				



- ② けやきユニット…リビングのキッチンの位置を変更し、機能的になりました。又廊下に照明を増設し、ユニット全体が明るくなりました。



- ③ 喫茶コーナー、談話コーナーの設置…ご入居者のご家族がゆっくりと過ごしていただける憩いの場を設けました。定期的に喫茶の日をもうける等を検討しています。(一部未改修)



- ④ エレベーター、ダムウェーター、医務室、事務所の扉・壁等への木目シート張り…玄関周りやフロア全体に温かい雰囲気が出ました。



- ⑤ 来客駐車場の路面(浄化槽)や施設内のクロス等を修繕しました。平成 27 年度内に改修することができなかった箇所もあるので、残工事については、平成 28 年度も継続して行います。

(9)【○】ユニットケアに関する自己評価(毎月)、スタッフの介護業務の質の評価(介護プロフェッショナルキャリア段位アセッサーの取得)

- ①ユニットケアに関する自己評価…毎月、ユニットケアに関する評価を行い、少しずつではありますが改善を図ることができました。来年度は全てが「○」となるよう一層の努力を図ります。

※ユニットケアチェックリスト集計(特別養護老人ホーム全 5 ユニット/チェック項目は全 53 項目)

自己評価	平成 27 年度末	平成 26 年度末
○	186	123
△	68	84
×	11	58

- ② 介護プロフェッショナルキャリア段位アセッサーの取得  
…2 名の職員がアセッサー資格を取得しました。

(10)【○】ユニットケアに関する職員教育【施設内研修、勉強会等の開催】

毎月開催の業務改善会議(ユニットリーダー会議)において、「ユニットケア実践 Q & A 改訂版(秋葉都子編著、中央法規出版発行、2010.8.15 第 6 刷)」の内容について学ぶ機会をもっています。介護の経験が浅い職員に対しても理解が進むよう努力を重ねていきます。

(11)【○】労働安全衛生に関するチェックリストの記載、事例検討会の開催(毎月)及び介護機器の使用推進

転倒予防に関するチェック、労働安全衛生に関する危険個所のチェックを行いました。介護機器の使用について、ユニット会議で事例をあげ使用の推進を図ります。引き続き労働安全衛生の向上について努めていきます。

(12)【○】施設外研修への参加【東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会、東海北陸ブロックカントリーミーティング、全国老人福祉施設研究会議、全国老人福祉施設研究大会、ユニットリーダー研修、認知症介護実践者研修】

- ・「法人 (8) 職員の資質向上 イ) 特別養護老人ホーム、短期入所生活介護」をご参照ください。」
- ・東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(平成 27 年 7 月 23 日、24 日)において研究内容を発表しました。

(13)【○】消防訓練(年 2 回)、消防用設備等法定点検(5 月・11 月)の実施

① 消防訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年 4 月 22 日(消防法に基づく部分訓練)</li> <li>・平成 27 年 12 月 22 日(消防法に基づく総合訓練)</li> <li>・平成 28 年 1 月 13 日(図上訓練)</li> <li>・平成 27 年 7 月 31 日、平成 28 年 1 月 18 日(緊急メール送信訓練) を実施しました。</li> </ul>
② 消防用設備等法定点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年 5 月 19 日、11 月 9 日に実施しました。</li> </ul>
③ 自主点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、実施しました。</li> </ul>

(14) その他

各ユニットの玄関で担当スタッフ紹介を行っています。

【医務係】

(事業の進捗状況を【○】(概ねできた)・【△】(課題が残った)・【×】(あまりできなかった)で自己評価をしています。)

(1)【○】感染症の発生防止・まん延防止に関する委員会の開催

年 12 回、幹部会議において報告審議を行いました。  
全国的なインフルエンザの流行により、施設内においても発症者があり、感染症のまん延防止対策を行いました。

(2)【○】嘱託医による診察(毎週)、随時対応

嘱託医による診察を行うとともに、連携・連絡を密にとり、嘱託医の指示の下、入居者の健康管理を行うことができま

した。

- (3)【○】看護職員による夜間オンコール(当番)体制  
当番制により、夜間のオンコール体制を確実にとることができました。
- (4)【○】入居者健康診断の実施(4~5月)、入居者歯科検診の実施(10月)  
計画どおりに実施し、入居者の健康状態の確認・把握を行うことができました。又11月にインフルエンザの予防接種(入居者・職員)を行いました。
- (5)【○】個別機能訓練の実施  
機能訓練スケジュール表を基に実施することができました。
- (6)【○】サービス担当者会議の開催  
延べ200回開催し、個別介護計画(ケアプラン)に反映することができました。
- (7)【○】高齢者医療、感染症防止に関する研修会の開催  
平成28年2月12日、3月22日、29日に開催し、計24名に対して研修を行いました。
- (8)【○】たんの吸引等の実施に関するフォローアップ研修  
計11名に対し、フォローアップ研修を行いました。
- (9)【○】特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員によるケアの連携協働のための研修プログラムへの受講  
平成27年5月26日に鈴鹿市消防本部を講師に招き、心肺蘇生法・AEDの講習を行い、緊急時の対応について学びました。(参加者15名)
- (10)その他  
医務室の入口でスタッフ紹介を行っています。

【調理部門】

(事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価をしています。)

(1)【○】給食会議の開催(毎月)

年12回開催、各部署からの意見の集約を行うことにより、食事内容の改善に反映しました。

(2)【○】食中毒の発生及びまん延防止に関する委員会の開催(毎月)

年12回開催、幹部会議において報告・審議を行いました。

給食施設管理者研修、ノロウイルス食中毒予防講習会に参加しました。引き続き食中毒の発生防止に努めていきます。

(3)【○】ユニット内調理及び盛付けの推進【陶器・漆器使用】

ユニットでの炊飯、対面盛付け、陶器・漆器の使用も進みました。まだまだ課題はありますが、食事時間がさらによりよいものとなるよう努めてまいります。

【食事風景】



(4)【○】ソフト食(嚥下困難な方への対応食のひとつ)の改善

(5)【○】嚥下機能に着目した栄養ケアの推進

【ソフト食例】

ソフト食用のゲル化剤を使用して、再形成を行っています。味と食べやすさを追求しています。



嚥下に関する研修会を受講し、口腔ケアや義歯の大切さについて改めて理解を深めることができました。

(6)【○】栄養マネジメントの実施

食事の観察及び年間延べ 217 回の課題分析、計画作成、定期評価を行い、多職種連携で取り組むことができました。

(7)【○】調理施設害虫駆除の実施(5月・11月)

平成 27 年 5 月 15 日、11 月 30 日に実施しました。

(8)その他

平成 27 年 10 月 15 日～21 日(延べ 5 日間)管理栄養士臨地実習の受け入れを行いました。(計 1 名)

《平成 28 年 3 月 31 日現在の特別養護老人ホーム入居者の状況》

(1) 要介護度(平均要介護度 3.92)

要介護 1	3 名
要介護 2	4 名
要介護 3	8 名
要介護 4	14 名
要介護 5	21 名

(2) 平均年齢 86.00 歳

男性	81.10 歳(10 名)
女性	87.23 歳(40 名)
最年長	102 歳
最年少	66 歳

(3) 平均入居日数 1,233 日

(4) 自己負担割合

1 割負担	47 名
2 割負担	2 名
社会福祉法人 負担軽減制度対象	1 名
平均自己負担額	87,972 円

(5) 負担限度額認定

	第1段階	1名
	第2段階	24名
	第3段階	14名
	第4段階	11名
(6)入居申込者数 121名		
	男性	46名
	女性	75名



## 第二種社会福祉事業

名 称	特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム 短期入所生活介護事業所 ／介護予防短期入所生活介護事業所 (三重県指定 2470300274 号)	
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地	
開設日	平成 5 年 5 月 1 日 (ユニット型 平成 26 年 5 月 1 日)	
類 型	ユニット型／老人短期入所事業	
定 員	30 床(3 ユニット(いちょう・ひのき・けやきユニット))	
事業の概要	介護をしているご家族が、冠婚葬祭や病気・出産、休養や旅行等により、一時的にご自宅での介護が出来なくなったとき等において、ケアプラン(個別介護計画)に基づき、日常生活全般の支援を行う短期滞在型サービス	
短期入所生活介護の基本方針(指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準 第 120 条)(指定介護予防サービス等の人員、設備及び運営並びに指定介護予防に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準 第 152 条)	<p>(要介護)利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、利用前の居宅における生活と利用中の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて利用者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援することにより、利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものでなければならない。</p> <p>(要支援)利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、利用前の居宅における生活と利用中の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて利用者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援することにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものでなければならない。</p>	
平成 27 年度事業計画目標	「1日 24 時間の生活を支える」ケアの実践	
事業報告	<p>≪平成 27 年度≫ <span style="float: right;">延利用者数 10,116 名</span>  (事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価をしています。)  (1)【○】ユニットケアのレベルアップ  ①ユニットケアに関する自己評価…毎月、ユニットケアに関する評価を行い、少しずつではありますが改善を図ることができました。来年度は全てが「○」となるよう一層の努力を図ります。</p>	

※ユニットケアチェックリスト集計(ショートステイ全3ユニット/チェック項目は全52項目)

自己評価	平成27年度末	平成26年度末
○	107	100
△	28	38
×	21	18

②ユニットリーダー研修の受講

・「法人 (8)職員の資質向上 イ)特別養護老人ホーム、短期入所生活介護」をご参照ください。」

③業務改善会議(ユニットリーダー会議)及びユニット会議の開催

・「特別養護老人ホーム 特養係(2)・(3)」をご参照ください。」

(2)【○】介護機器の導入推進 計2回開催

介護機器の使用についての考え方や活用方法について学ぶ場をもちました。

(3)【○】根拠のある介護の実践

特養すみれユニットの取り組みや自ユニット内での学び、外部研修(排便コントロール)への参加等により理解を深めることができました。1事例において、1日1,500mlの水分の飲用と食物繊維の摂取、排便リズムの把握、歩行訓練等により、便秘がちであった排便を自然に排便がある状況にまで改善することができました。今後は日常生活動作の向上や認知症の改善に取り組んでいきます。

(4)【○】認知症ケアの向上

認知症の原因疾患別のアプローチ方法及び認知症高齢者に対する水分ケアの有用性について学び、それらを実践していきます。

(5)【○】接遇マナーの向上

全ての基本となる5S「整理・整頓・清潔・清掃・躰」について再度、管理職より指導を行うとともに、職場の風土を構成する要素である「規範性・共有制・学習性」について職員に周知徹底をしました。

(6)その他

各ユニットの玄関で担当スタッフ紹介を行っています。



## 第二種社会福祉事業

名 称	デイサービスセンター 鈴鹿グリーンホーム 通所介護事業所／介護予防通所介護事業所 (三重県指定第 2470300332 号)			
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地			
開設日	平成 5 年 10 月 1 日			
類 型	大規模型事業所Ⅱ／老人デイサービス事業			
定 員	55 名			
事業の概要	事業所の送迎により、日帰りでデイサービスセンターに通い、他のご利用者と一緒に、食事や入浴などの介護、リハビリテーション、レクリエーション、創作活動の支援などを行ないます。			
通所介護の基本方針(指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準 第 92 条)(指定介護予防サービス等の人員、設備及び運営並びに指定介護予防に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準 第 96 条)	<p>(要介護)利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものでなければならない。</p> <p>(要支援)利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものでなければならない。</p>			
平成 27 年度事業計画目標	「地域包括ケア」の構築に取り組む			
事業報告	<p>≪平成 27 年度≫ <span style="float: right;">延利用者数 14,399 名</span>  (事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価をしています。)</p> <p>(1)【○】在宅生活を継続するためのサービス提供</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">①アセスメント(課題分析)の見直し</td> <td style="width: 50%;">計 111 ケースに対して実施しました。</td> </tr> </table>		①アセスメント(課題分析)の見直し	計 111 ケースに対して実施しました。
①アセスメント(課題分析)の見直し	計 111 ケースに対して実施しました。			

②生活に着目したケアプラン(個別介護計画)への移行	計 111 ケースに対して実施しました。
③生活機能に着目した個別機能訓練の実施	計 391 ケースに対して実施しました。
④人材育成のための取り組み	「法人 (8) 職員の資質向上ウ) デイサービスセンター」をご参照ください。」

## (2)【○】危険意識を高める安全活動

①職員会議、カンファレンス(事例検討会)での啓発	計 12 回開催 延べ 102 名出席
②勉強会の開催・職員指導	計 5 回開催 延べ 48 名参加
③朝礼等における申し送り	・6 月 15 日より朝礼の申し送り次項に追加して実施しました。 計 388 ケースについて実施しました。
④分析、安全対策の浸透	・7 月 4 日より毎週土曜日に評価を実施しています。 計 115 ケースについて評価を行いました。

## (3)【○】ご利用者のニーズに沿ったアクティビティ(日中活動)の提供

① 検討会議の開催	計 11 回開催しました。	
② 内容の評価	アクティビティ会議において、計 11 回の評価を行いました。	
③ メニューの充実	計 12 回実施しました。	
	4 月	午前中に男性テーブルにおいてアクティビティの提供を始めました。
	5 月	利用者個々のサービス計画書より拾い出し、リストを作成しました。
	6 月	アクティビティに参加されない利用者への働きかけを実施し、状況の記録と評価を行いました。
7 月	アクティビティリストの作成が完了しました。 ・「興味・関心チェックシート」の導入 ・企画→実施→評価を実施しました。 ・少人数でできるアクティビティの提供	

		を始めました。
8月		5月で拾い出したニーズについてアクティビティメニューに反映しました。
9月		茶話会において興味・関心の聞き取りを行いました。
10月		継続して興味・関心の聞き取りを行いました。
11月		興味・関心の聞き取り情報、アセスメントシート、サービス計画書から拾い出したニーズをアクティビティメニューに反映しました。
12月		前月のアクティビティメニューを継続実施しました。
1月		来年度のアクティビティメニューについて検討を行いました。
2月		反省会を開催しました。
3月		反省会を開催しました。
<p>(4)【○】鈴鹿市障がい者(児)日中一時支援事業の受託 受託を継続し、計39回の一時支援を行いました。</p> <p>(5)【○】介護保険制度改正による事業所類型(サテライト型)の検討 事業所内及び理事会・評議員会における検討の結果、サロン花葉については地域密着型へ移行することになりました。</p> <p>(6)【×】地域支援事業移行への準備 鈴鹿市主催の平成28年度介護予防事業打ち合わせ会議に出席しました。平成28年10月の説明会を経て、それ以降となるとのことでしたので、本格的な準備は来年度となります。</p> <p>(7)【○】その他 事業所の玄関でスタッフ紹介を行っています。</p>		



## 第二種社会福祉事業

名 称	サロン花葉 (通所介護事業所／介護予防通所介護事業所) (三重県指定第 2470302205 号)					
所在地	鈴鹿市算所 5 丁目 3 番 12 号					
開設日	平成 23 年 4 月 1 日					
類 型	小規模型事業所／老人デイサービス事業					
定 員	10 名					
事業の概要	事業所の送迎により、日帰りでデイサービスセンターに通い、他のご利用者と一緒に、食事や入浴などの介護、リハビリテーション、レクリエーション、創作活動の支援などを行ないます。					
通所介護の基本方針(指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準 第 92 条)(指定介護予防サービス等の人員、設備及び運営並びに指定介護予防に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準 第 96 条)	<p>(要介護)利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものでなければならない。</p> <p>(要支援)利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものでなければならない。</p>					
平成 27 年度事業計画目標	「地域包括ケア」の構築に取り組む					
事業報告	<p>≪平成 27 年度≫ <u>延利用者数 1,309 名</u>  (事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価をしています。)</p> <p>(1)【○】サービスのよさを知っていただく機会を増やす</p> <table border="1" data-bbox="464 1854 1347 1944"> <tr> <td>①居宅介護支援事業所への訪問</td> <td>計 30 回訪問しました。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②個別ケアの推進について、ケアプランの更新時、状態変化時、</td> </tr> </table>		①居宅介護支援事業所への訪問	計 30 回訪問しました。	②個別ケアの推進について、ケアプランの更新時、状態変化時、	
①居宅介護支援事業所への訪問	計 30 回訪問しました。					
②個別ケアの推進について、ケアプランの更新時、状態変化時、						

見直し時等において、ニーズをアセスメントに反映し、根拠のある、ご利用者本位のサービスの提供を行うことができました。

③サービス担当者会議時等にサービスの質やご要望の聞き取りを行いました。

④計 21 名の方に見学や体験利用をいただきました。

(2)【○】地域支援事業移行への準備

地域支援事業の移行について、行政等から考え方や今後の流れ等について情報を収集しました。

(3)【○】地域ケア会議等や教育機関等の連携

広報誌の配布、地域ケア圏域会議への参加、西部地域包括支援センターとの協力連携、ワークキャンプ等生徒・学生の受け入れ、交流会の開催、第 3 次鈴鹿市地域福祉活動計画専門部会への参画等により、地域とのつながりが深まりました。

(4)【○】介護保険制度改正による事業所類型(サテライト型)の検討

事業所内及び理事会・評議員会における検討の結果、地域密着型へ移行することになりました。

(5)【○】人材育成とスキルアップ

・「法人 (8)職員の資質向上 エ)サロン花葉」をご参照ください。」

(6)【○】危険意識を高める安全活動

①ヒヤリハット事例等の一つ一つについて、原因の分析、再発防止の検討を行いました。

②感染症予防のため、各トイレ内に収納ボックスを設置しました。

③交通法規の遵守と車両管理を徹底しました。



## 第二種社会福祉事業

名 称	在宅介護支援センター 鈴鹿グリーンホーム						
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地						
開設日	平成 10 年 4 月 1 日						
類 型	老人介護支援センター						
事業の概要	地域の高齢者の家庭内の事故等による通報に対応するとともに高齢者の方ならどなたでも参加できる介護予防教室を介護事業所や地域の公民館等で開催します。						
事業及び施設 (老人福祉法第 20 条の 7 の 2)	地域の老人の福祉に関する各般の問題につき、老人、その者を現に養護する者、地域住民その他の者からの相談に応じ、必要な助言を行うとともに、主として居宅において介護を受ける老人又はその者を現に養護する者と市町村、老人居宅生活支援事業を行う者、老人福祉施設、医療施設、老人クラブその他老人の福祉を増進することを目的とする事業を行う者等との連絡調整その他の厚生労働省令で定める援助を総合的に行うことを目的とする。						
平成 27 年度 事業計画目標	「地域包括ケア」の構築に取り組む						
事業報告	<p>(事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価をしています。)</p> <p>(1)【○】鈴鹿市一次予防事業業務委託 計 58 回 延べ 1,345 名参加</p> <table border="1"> <tr> <td>①音楽を楽しむ会(音楽を用いたレクリエーションケア/毎週火曜日に実施)</td> <td>計 46 回開催、延べ 949 名の方に参加いただきました。</td> </tr> <tr> <td>②生きがい活動など(月 1 回程度の実施)</td> <td>計 9 回開催、延べ 229 名の方にご参加いただきました。</td> </tr> <tr> <td>③出張音楽会の地域実施</td> <td>地域からご要望いただき、計 3 回開催、延べ 167 名の方にご参加いただきました。</td> </tr> </table> <p>(2)【○】鈴鹿市高齢者通報体制整備事業業務委託 年間 107 回の相談をいただき、関係機関につなげる等適切に対応いたしました。</p> <p>(3)【○】車いす等無料貸し出し事業の継続 年間 18 名のご希望者に対して、延べ 357 日間、車いす等の貸し出しを行い、在宅生活への支援をさせていただきました。地域貢献にもつながっています。</p>	①音楽を楽しむ会(音楽を用いたレクリエーションケア/毎週火曜日に実施)	計 46 回開催、延べ 949 名の方に参加いただきました。	②生きがい活動など(月 1 回程度の実施)	計 9 回開催、延べ 229 名の方にご参加いただきました。	③出張音楽会の地域実施	地域からご要望いただき、計 3 回開催、延べ 167 名の方にご参加いただきました。
①音楽を楽しむ会(音楽を用いたレクリエーションケア/毎週火曜日に実施)	計 46 回開催、延べ 949 名の方に参加いただきました。						
②生きがい活動など(月 1 回程度の実施)	計 9 回開催、延べ 229 名の方にご参加いただきました。						
③出張音楽会の地域実施	地域からご要望いただき、計 3 回開催、延べ 167 名の方にご参加いただきました。						



## 公 益 事 業

名 称	在宅介護支援センター 鈴鹿グリーンホーム 居宅介護支援事業所 (三重県指定第 2470300258 号)	
所在地	鈴鹿市深溝町字北林 2956 番地	
開設日	平成 11 年 9 月 10 日	
類 型	居宅介護支援事業	
事業の概要	ご利用者の心身の状況やご家族のご希望に沿ったケアプラン（個別介護計画）の作成、サービス事業者への連絡調整や利用の手配、介護保険給付管理、介護に関する生活相談などを行いません。	
居宅介護支援の基本方針（指定居宅介護支援等の事業の人員、設備及び運営に関する基準 第 1 条）	<p>利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して行われるものでなければならない。</p> <p>利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行われるものでなければならない。</p> <p>指定居宅介護支援の提供に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、利用者に提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は特定の居宅サービス事業者に不当に偏ることがないよう、公正中立に行わなければならない。</p> <p>事業の運営に当たっては、市町村、法第 115 条の 46 第 1 項に規定する地域包括支援センター、老人福祉法第 20 条 7 の 2 に規定する老人介護センター、他の指定居宅介護支援事業者、指定介護予防支援事業者、介護保険施設等との連携に努めなければならない。</p>	
平成 27 年度事業計画目標	「地域包括ケア」の構築に取り組む ～”地域に伝える”変化する介護保険制度への順応～	
事業報告	<p>《平成 27 年度》 <span style="float: right;">延利用者数 1,826 名</span></p> <p>(事業の進捗状況を【○((概ね)できた)】・【△(課題が残った)】・【×(あまりできなかった)】で自己評価をしています。)</p> <p>(1)【○】公平公正の基本方針のもと、適切な居宅介護支援サービスを提供する 毎月担当ケアマネジャーによる居宅へのモニタリング訪</p>	

問の実施、毎月利用事業所へサービス提供票を持参する等、各サービス事業所への訪問を実施しました。

社会資源ファイルの拡充に努め、書面を活用して利用者に適した介護サービス事業所の情報提供を公平公正に行うことができました。

(2)【○】和顔愛語の実践

人事考課制度を活用し、各スタッフの年間目標の設定や振り返りによる自己覚知と資質の向上につなげることができました。又職員間の交流を図り、ストレスを抱え込みすぎず、常に相互で相談し合い、指摘し合える関係の維持、向上に努めました。

(3)【○】介護保険制度改正に伴う改正点の理解とご利用者、ご家族に対する説明及び必要な情報の提供

自己負担割合や負担限度額認定などについて、パンフレットやリーフレット等を活用し、制度の変更点についてわかりやすい説明と対応を心がけました。大きな混乱なく対応することができました。

(4)【○】地域との連携強化、地域の社会資源等の情報収集

新規開業事業所への内覧会出席による情報収集や、必要に応じたパンフレット等の取り寄せにより、社会資源ファイルの拡充と利用者への適切な情報提供を行いました。又必要に応じ連携を図り、利用に向けた支援を行いました。

(5)【○】市、保険者、地域包括支援センター、民生委員との連携強化

困難事例等での連携に加え、民生児童委員協議会や地域ケア圏域会議への出席等、各関係機関の求めに応じ連携を図りました。

(6)【○】医療機関との連携強化

ご利用者の入退院時の情報共有や連携、ケアプランの主治医への提出と意見確認等を通じ、近隣医療機関との連携を図りました。又研修についても医療機関開催のものを意識して参加し、理解を深めることができました。

(7)【○】他介護サービス事業所、居宅介護支援事業所との連携

強化

- ・「(1)公平公正の基本方針のもと、適切な居宅介護支援サービスを提供する」をご参照ください。

(8)【○】困難ケースへの対応強化

西部地域包括支援センターをはじめ、鈴鹿市長寿社会課や鈴鹿亀山地区広域連合の求めに応じ、いわゆる困難ケースへの関与・対応を行いました。

(9)【○】地域ケア会議への参加、ケアプラン(個別介護計画)点検の実施、ケース検討会、研修への事例提供

- ・「法人 (8)職員の資質向上 ②施設内研修及び カ)」をご参照ください。

(10)【○】事業所内ケースに対する相互チェック

延べ 23 件について、事業所内の他のケアマネジャーが同行し、居宅への訪問を実施しました。

(11)【○】事業所運営会議(概ね毎週)、事業所内外研修(施設内:毎月)

(12)【○】自己覚知と資質向上

- ・「法人 (8)職員の資質向上 ②施設内研修及び カ)」をご参照ください。

(13)【○】ケース数増に対するサービス提供体制の整備

平成 27 年 11 月、非常勤ケアマネジャーの採用により、当初目標としていた 4.5 名体制を確保することができました。地域のニーズにより対応することができるようになりました。

(14) その他

事業所の玄関でスタッフ紹介を行っています。